

IWJ Independent Web Journal》非会員向け 記事一覧ページ

2013/03/08 敦賀原発、廃炉の可能性強まる 「活断層」判定に異論出ずー敦賀
発電所敷地内破碎帯の調査に関する有識者会合 第3回評価会合及びピア・レビ
ュー会合



8日、敦賀発電所敷地内破碎帯の調査に関する有識者会合、第3回評価会合及
びピア・レビュー会合が行われた。日原電側は「D-I 破碎帯及び、K 断層は、後
期更新世以降の活動はない。したがって、耐震設計上考慮すべき活断層でない」
としたが、有識者側は「今回の資料で、基盤岩の比高は約 1.8m、累積線も認め
られた。K 断層は活構造であるということがはっきりした」とする。

その後、「日本原子力発電株式会社敦賀発電所の敷地内破碎帯の評価書案」に
ついて、他の有識者からの意見を聞くためのピア・レビュー会合が行われ「評
価書案は一般人には分かりにくい」という意見が出た。

■議題

・第3回評価会合

敦賀発電所敷地内の破碎帯について

・ピア・レビュー会合

日本原子力発電株式会社敦賀発電所の敷地内破碎帯の評価書案について

■開催案内

[http://www.nsr.go.jp/committee/yuushikisya/tsuruga_hasaitai/data/0004
00.pdf](http://www.nsr.go.jp/committee/yuushikisya/tsuruga_hasaitai/data/000400.pdf)

■会議資料

[http://www.nsr.go.jp/committee/yuushikisya/tsuruga_hasaitai/20130308.h
tml](http://www.nsr.go.jp/committee/yuushikisya/tsuruga_hasaitai/20130308.html)